

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)			
<p><b>学校運営方針</b></p> <p>明るく豊かな心を持ち、英知に富み、たくましい精神力と強靱な体力を持った、力強く生き抜く若人の育成を目指す。</p>					
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>本校は5年前に創立30周年を終え、当初の新設校から新たな伝統校への出発を誓って教育活動を進めてきた。本年度、創立35周年を前に、非常に高い志願倍率を得るなど、本校は、もはや「かつての新設校」ではなく、北筑後地区に確固たる地位を占める伝統校のひとつとなってきている。</p> <p>これまでの35年の道のりでは校訓及び教育目標の達成並びに地域に根ざした普通科高校としての存在意義を認識し、生徒や保護者あるいは地域の期待に応え、かつ信頼される学校教育を展開するとともに、魅力と活力に溢れた学校づくりを推進してきた。</p> <p>現在、校内では大変落ち着いて整然と教育活動が行われる状況であり、生徒指導面での問題もなく、着実に学力もついてきている。それを支える職員意識も高い。</p> <p>創立35周年を迎える本年度、更なる飛躍に向けて機は熟した。今こそ、もう一段階上を目指して、学校の在り方を再構成していく。</p> <p>そのためのスローガンとして本年度は以下の3つのキーワードを掲げ、充実した教育活動を行う。</p> <p>「変えないために変える」 「守るために攻める」 「習慣が瞬間を作る」</p>	<p>年度重点目標</p> <p>「グローバル人材育成強化校」の指定を最大限に活用し、生徒が英語でコミュニケーションを図る機会を確保し、論理的思考力、判断力及び表現力に加え、実践的な英語力を身に付けたグローバル人材の育成を図る。</p> <p>いかにすれば生徒の理解度を高めながら学習意欲を引き出すことができるかを追求する、自ら学び続ける教師集団を目指す。</p> <p>本校の目指す学校像の中に謳われている「師弟同行」の精神のもと、教師自身が生徒とともに実践をし、的確な声かけを継続する中で豊かな人間力を育成する。</p> <p>キャリア教育の意義を踏まえ、高い志を持たせるとともに高い目標や課題を生徒個々に設定させ、チャレンジしながら自己の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図る機会を設定する。</p> <p>部活動・生徒会活動・ボランティア活動の活性化を図り、社会や地域のために貢献する意志と自他を尊重する豊かな心を育む。</p> <p>本校の教育活動に関する広報活動を推進し、保護者や地域と協力して開かれた学校づくりに努める。</p>	<p>具体的目標</p> <p>英語科を除くすべての教科で、英語活動指導員(EAS)を積極的に活用した英語イマージョン教育を展開することにより、新たな入試制度にも対応できる人材を育成するとともに、学校の活性化を図る。</p> <p>英語イマージョン教育の導入により、英語の4技能をバランスよく学ばせることで、新たな大学入試に対応できる力をつける。</p> <p>多様化する生徒ひとりひとりの個性を多面的にとらえて可能性を引き出す授業を展開するために、教科ごとに現在の実態を踏まえたテーマを設定し、年間を通して、授業改善のための課題解決型研修に取り組む。</p> <p>「鍛えよう、ほめよう、小郡高の教育力向上プロジェクト」をコンセプトに、生徒が抱える本質的な課題の解決に効果的な取組を実践し、学校の教育力を高め、生徒の力を伸ばす教育活動を実践する。</p> <p>人権・同和教育を推進し、教師との信頼関係のもと、あらゆる教育活動において自他を尊重する態度を養い、いじめ等のない安心して学べる環境を構築する。</p> <p>「文武不岐」の精神のもと、部活動への積極的な加入を促すと同時に活動内容の充実を図り、心身の調和のとれた発達を促す。</p> <p>「何のために学ぶのか」、「人生をどう生きるのか」といった根源的な問いかけを続けることにより、生涯を通じたキャリア意識を醸成する。</p> <p>1年次のNIEや2年次の国際交流を中心とした発信型の課題研究を通じて、自らの意見をまとめ、適切かつ積極的に伝える能力を育てる。</p> <p>課外や土曜セミナーの在り方を再検討し、より適切内容とする。</p> <p>個々の進路希望に応じた講座、各種のセミナー等を充実させ、学びに向かう姿勢の醸成と進路実現のための学力を向上させる。</p> <p>進路ガイダンスや学校説明会の実施、オープンキャンパスや出前講義の活用により、幅広い選択肢を持たせ、志を高めさせる。</p> <p>様々な機会を通じて、インターネットやSNS等から発信される世の中にあふれる情報について、正しく判断し活用できるメディア・リテラシーを身に付けさせる。</p> <p>各種行事において、リーダーシップを発揮する場を設け、リーダーの資質を育成する。</p> <p>校内外の清掃活動やボランティア活動を企画したり参加したりすることにより、望ましい勤労観や職業観を育成し社会に貢献する態度を養う。</p> <p>生徒が様々な人々に出会い協働して活動する機会を積極的に設けることにより、広い視野を持ち、高い判断力や表現力を持った生徒を育成する。</p> <p>地域に愛され、求められる学校となるために、日ごろから地域との連携を図る。特に三国が丘校区(本校所在校区)が行っている小・中・高・関係行政機関の連携において、中等教育機関として推進的な役割を担う。</p> <p>中学校訪問、教育機関訪問、進路相談事業等において、広報委員会を中核とした全職員による組織的な広報活動を展開する。</p> <p>ホームページや広報紙等を通じて、生徒の活躍や日常の教育活動等をきめ細かく発信し、保護者との連携を深めるとともに地域からの信頼や理解を得る。</p> <p>「全職員が広報担当」の意識を持ち、全ての教育活動に当たる。</p>			
<p>評価項目</p>	<p>具体的目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価 (3月)</p>	<p>次年度の主な課題</p>	
<p>学習指導</p>	<p>「主体的対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善をさらに具体的に進める。また、研修部と連携してイマージョン教育を推進し、グローバル人材の育成について学校を挙げて取り組む。</p> <p>3年間を見通したキャリア教育の全体計画に基づく教育活動を充実させる。</p> <p>「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、情報提供を行い「カリキュラム・マネジメント」を推進する。</p>	<p>研修部と協力し、英語イマージョン教育の推進や研究授業・公開授業を積極的にに行い、教員の授業力向上に努める。</p> <p>「主体的対話的で深い学び」の実現に向けて、すべての教科においてアクティブ・ラーニングの導入をさらに促進するための情報提供を行う。</p> <p>電子黒板やプロジェクターなどのICTを使用した授業をさらに広めるために、情報課と連携して、授業の方法や効果についての周知を広める。</p> <p>家庭学習時間調査について調査結果を的確に分析し、効果的な授業や課題の工夫につなげる。</p> <p>入学から卒業・進路までの追跡調査を行い、組織的・継続的で効果的な学習指導を推進できるような情報提供を行う。</p> <p>「入学から卒業までのキャリア教育計画」に基づき、教科・科目とその他の教育活動について、系統的・継続的・組織的な取組となるような学習指導計画を作成・実施する。</p> <p>学校全体のすべての教育活動について、言語活動を重視した取り組みを推進するために、各教科・科目や分掌、学年に情報提供を行う。</p> <p>新学習指導要領の骨子や考え方、詳細な内容について、十分に研究し、職員に対しての適切な情報提供を行う。</p> <p>本校の教育課程が「社会に開かれた教育課程」となるように、具体的な編成の検討を行う。</p>			
<p>生徒指導</p>	<p>生徒の自己指導能力や基本的な生活態度を育成する。</p> <p>学校安全の充実を図り、安全について主体的に行動する態度を育てる。</p> <p>豊かな人間性の育成を図り、心身の調和のとれた発達を促す。</p>	<p>日常生活において、時間厳守、校内美化、容儀、静止礼を含む挨拶や言葉遣い等の実践的態度を身に付けさせる。</p> <p>校内風紀の維持・向上を図るため、服装・頭髪検査を月1回実施する。</p> <p>携帯電話・スマートフォン、インターネット等については適切な使用を継続して指導し、十分な睡眠時間や家庭学習習慣を保持させる。</p> <p>学校いじめ防止基本方針に基づく取組を行い、保健環境課と連携を密にし、いじめの未然防止や早期発見、適切な措置に努める。</p> <p>諸犯罪に適切に対応できる態度を育成するため、薬物乱用防止教育を含めた暴力団排除教育や女子防犯教育を実施する。</p> <p>交通安全に対する意識を向上させ、事故等の未然防止に向けた実践的態度を育成するため交通安全教室や自転車点検、乗車マナーを含む公衆マナー指導を実施する。</p> <p>生徒会活動では、集団の一員としての自覚や社会性の伸長を図るために役割や責任を与え、主体的に取り組む態度を育成する。</p> <p>部活動加入率80%を達成するために新入生徒入部期間等を充実させ、安全指導や安全管理を徹底して行い事故等の未然防止に努める。</p> <p>校外清掃活動やボランティア活動を通して更なる人間性の向上を目指す。</p>			
<p>進路指導</p>	<p>各分掌・学年と連携し、キャリアプランニング能力を高める活動を充実させる。</p> <p>「総合的な学習の時間」における課題研究を充実させ、生徒の課題対応能力を高める。</p> <p>模擬試験等を効果的に活用し、希望進路の実現に向けた指導を徹底する。</p>	<p>自己管理手帳を有効に活用し、各分掌・学年と協力してガイダンスや面談を行う。</p> <p>生徒・職員向けの進路情報の提供を充実させ、高大接続改革に対する意識を高める。</p> <p>生徒向けの校外活動プログラムを周知徹底し、積極的に参加を勧める。</p> <p>1年:NIEにおける課題研究の成果をプレゼンテーションする機会を設定する。</p> <p>2年:国際交流活動における課題研究テーマにリサーチクエストを設定する。</p> <p>3年:進路ガイダンスを充実させ、進路目標の実現に向けて主体的に学ぶ態度を確立させる。</p> <p>模擬試験に向けたPDCAサイクルを確立させ、学習内容の定着化を図る。</p> <p>模擬試験の分析における各教科の今後に向けた具体的な取り組みを充実させる。</p> <p>模擬試験結果等の様々なデータを活用し、適切できめ細やかなキャリアカウンセリングを行う。</p> <p>出席皆勤を目指させる、食事、睡眠を適切に取り生活リズムを整えさせる。(目標120名以上)</p> <p>時間厳守(5分前行動)、社会で通用する挨拶(静止礼)・服装・礼儀・言葉使いなどの意義を理解させ、指導の徹底を図る。</p> <p>手拭きによる清掃活動を定着させ、美化意識の向上を図る。</p> <p>挨拶、話を聞く姿勢等の授業規律を徹底させ、教材教具の管理を確実にさせ、学習環境を整え、学習意欲を高めていき、授業出席率98%以上を目指す。</p> <p>授業では主体的で対話的な学習を実践し、家庭学習では課題等の提出の徹底を図るとともに、各教科と連携し、課題の量や質を調整しながら、能動的な学習に取り組めるようにする。</p> <p>自己の進路について、様々な場面で考えさせる機会を設け、進路目標を早期に設定させる。</p> <p>部活動への加入率90%以上を目指し、生徒会活動も積極的に奨励していく。</p> <p>高大接続の入試改革を見据えて、自己肯定感を高めさせ、生徒の自主性を引き出し、諸活動やボランティア活動など積極的に取り組ませる。</p> <p>上級生を見て学ぶ姿勢を持たせ、リーダーの育成に努める。</p>			
<p>第1学年</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p> <p>自律的学習習慣の確立、進路意識の高揚</p> <p>校是『文武不岐』に基づいた指導の実践</p>				

平成30年度 学校自己評価表 ( 計画段階 ・ 実施段階 )

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
第2学年	基本的な生活習慣に基づいた自己管理能力の育成を行う。	挨拶(静止礼)、端正な制服の着こなし、清掃活動、5分前行動が自発的に、日常的に実践できるよう粘り強く指導を行う。 学習、食事・睡眠など、規則正しい生活習慣の確立を徹底し、心身の健康維持に努めるよう指導を行う。 授業や学校を休まない雰囲気づくりに努め、皆勤者120名以上を目標とし、達成できるように指導を行う。		
	グローバル人材の一員として社会に貢献できるよう礎を築かせる。	海外修学旅行などを通して、異文化に触れ、コミュニケーションの重要性を知り、語学に対して関心を深めるように指導を行う。 「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」力をあらゆる場面で習得できるよう、場面に応じた計画を立て実践し、学力向上に努める。 一人一人が日々課題を設定し、達成感・充実感を知り、進路実現に向けて突き進むよう指導を行う。		
	『文武不岐』の精神に基づいたリーダーの育成を行う。	学校の中堅として、先輩を支え、後輩を導き、活気のある学校生活が送れるよう支援する。 学校行事・生徒会活動・部活動などに積極的に参加し、生徒の自主性を育成させる。 ボランティア活動に積極的に参加し、社会に貢献できる人材を育成する。		
第3学年	希望進路の実現を図る。	進路目標を明確にさせ、設定した目標に対してのチャレンジ精神を最後まで持たせ、進路実現の意識を高める。□ 授業を基点とした学習指導を重視するとともに、自学の充実や隙間時間の活用を促し、進路実現のための具体的な学習計画を実行させる。□ 生徒への進路情報の発信や職員間の情報共有を正確に行い、個に応じた進路指導の徹底を図る。□		
	自主性、自律性を身に付け、社会に貢献できる人間の育成に努める。	皆勤者120名以上、出席率98%以上を目指す。 社会生活において必要である、挨拶(静止礼)、身だしなみ、言葉遣い、時間厳守、清掃活動、集団生活マナー等を考えて実践できるように支援する。□ 積極的な生徒指導を実践し、生徒が規範意識を持ちつつ、自尊感情を高められるように指導の工夫を行う。□		
	後輩に対して模範となる行動を心掛け、最上級生としてのリーダーの資質を育成する。	最上級生として自覚ある行動を促すとともに、リーダーシップ・フォロワーシップを身に付けさせ、集団の一員としての自他を尊重する態度を育成する。□ 文武不岐の精神のもと、勉強・部活動ともに一体となった活動の充実を図る。 新たな伝統校のひとつである小郡高校の最上級生として、下級生に対して良い伝統を繋いでいく。□		
保健・環境	健康教育を推進し、気力・体力を備えた生徒を育成する。	保健室と連携しながら、健康的な生活習慣の大切さを理解させ、身に付けさせる。 生徒保健委員会の活性化を図り、健康に関する啓発活動を行う。 AED講習会等の研修を通して、危機管理能力を高めさせる。		
	教育環境の美化・整備に努める。	教職員の監督・協力のもとに、日常の清掃活動の徹底を図る。 生徒環境委員の活性化を図り、校内の美化・整備に積極的に参加させる。 美化コンクールを実施し、生徒の美化意識を高める。		
	教育相談活動を充実させ、支援が必要な生徒には一人ひとりに適切な対応をする。	教育相談委員会を定期的に開催し、情報の共有に努め、対応を協議し、必要な支援をする。 心の相談を実施し、必要に応じてケース会議を行い、生徒へ適切な支援をする。 拡大学年會、生徒情報交換会、教育相談委員会の相互連携を図り有効な支援をする。		
図書研修	英語イメージ教育の推進と指導力向上のための職員研修の充実を図る。	各分掌と連携し、本校の教育活動をテーマにした職員研修を企画・実施する。 教科ごとに現在の実態を踏まえたテーマを設定し、年間を通して授業改善研修に取り組む。 研修情報の提供に努め、校外研修への積極的な参加を促す。		
	読書活動を通して豊かな心や思考力・表現力を育成する。	「朝の10分間読書」を充実させ、読書習慣を確立させる。 「ピリオメッセージ」を実施し、読書体験の共有化と表現力の向上を図る。 図書館だよりの発行および朝の放送等を利用して、図書館利用の促進し、継続的な読書指導を行う。		
	教育活動全体を通して人権同和教育を推進する。	各学年と協力し、人権・同和教育特設授業の内容を充実させる。 各分掌と連携し、生徒理解を深め、人権感覚を涵養するための研修を企画・実施する。 校外の人権・同和教育研修への積極的な参加を推進する。		
企画	広報活動のさらなる充実	「学校案内」「小郡高校ニュース」の内容をさらに充実させ、効果的な活用を検討・推進する。 「第8学区中学生進路相談事業」を昨年以上に充実したものにす。 生徒主体の広報活動を企画し、実施する。		
	計画的な年間行事の企画・他分掌との連携	各学年・各分掌と緊密な連絡調整を行い、綿密な計画の下、位置づけを明確にして、担当行事を円滑に実施する。 父母教師会・同窓会と緊密な連絡調整を行う。 広報委員会との調整を行い、中学校訪問をさらに充実したものにす。		
	記録および基本情報との管理	他分掌にも依頼し、行事ごとに記録係を設け、画像・映像により積極的に記録する。企画課が取りまとめて整理する。 基本情報(職員名票・住所録・緊急連絡表・行事予定等)の計画的な作成と管理を行う。 教室での授業用パソコンやプロジェクタを活用した授業を推進する。		
情報	ICTを活用した授業を推進する	教室での書画カメラやデジタルカメラ等のICT機器を活用した授業を推進する。 電子黒板の使用についての研修会を行い、これを活用した授業を推進する。		
	校務用ネットワークおよびICT機器管理を行う	校務用ネットワークの保守管理を意識して、不備には速やかに対応する。 授業用パソコンやプロジェクタや書画カメラ等のICT機器の使用について管理を確実にす。 他の分掌との連携を図り、ICT機器の活用を推進する。		
	県からの調査・報告や書類関係の申請、職員への連絡を速やかに確実にす	県からの調査・報告については速やかに対応する。 必要なソフトウェアのインストール申請や外部機器接続に関する申請など速やかに対応する。 職員への連絡に関しては紙による連絡だけでなく、電子メールの活用も図る。		